

「サーキュラーエコノミーモデル地区拠点整備」

1991年に創設された当団体は「産業と環境の調和」を目差し

1. 生物多様性における人類を含めた生態系の構築
2. 地球温暖化の抑止

この2つの課題を掲げセミナーの開催、一人一人のできることから行動を起こしてきました。

2008年からは「天使の森プロジェクト」を立ち上げ、2012年より愛知県岡崎市の最東部の標高550mの山頂付近13.5haを借り上げ、水源地に於ける生物多様性林づくりを小学校、市民協働で毎年1000本程の苗木を植樹し今年も8回目となります。

監修は植物分類学者で東京大学名誉教授である岩槻邦男氏によります。天使の森プロジェクトは水源地の山頂に始まり里山から街へ、そして海に至る河川流域を産業と環境の調和の取れた地域をモデル化して行くもので昨年度より里山に於ける産業形成に取り掛かっています。

又、未来への持続性に於いて教育活動は欠かす事のできない要素で、里山の予てから廃校になっていた小学校を利用し自然と共存した社会づくりの大切さを知る「気付きの学校」を提唱し昨年より市の教育委員会と共に開校に向け協議に入りました。又、産業においては、自然農法による一次産業を推進し、この地域で二次～三次産業へと人と地球の健康を持続させるためのビジネスモデルを構築しています。

サーキュラーエコノミー推進地区指定



特定非営利活動法人アースワーカーエナジー

2022